

# ハンガリー

2020年12月2日  
海外調査部・ブダペスト事務所

2019年の貿易は、輸出が前年比3.9%増、輸入が4.8%増とともに増加したが、輸入の伸びの方が大きかったため貿易黒字は減少した。輸出ではドイツ向けの自動車輸出が好調だった。外国直接投資額は、対内・対外ともに前年を下回った。対日貿易は、輸出入ともに道路走行車両の増加により、輸出が4.7%増、輸入が15.6%増となった。日本からの投資はEVバッテリー関連の投資が続いた。

## ■自動車の輸出増、国別ではドイツが好調

2019年の貿易は、輸出が前年比3.9%増の1,089億2,900万ユーロ、輸入は4.8%増の1,040億7,400万ユーロと、輸出入ともに増加した。黒字額は、輸入額の伸びが輸出額を上回り、前年から6億6,500万ユーロ減少して48億5,500万ユーロとなった。

輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である道路走行車両（部品を含む、構成比17.8%）が前年比12.0%増と好調だった。ハンガリーに生産拠点を展開する自動車各社の輸出額が、マジェール・スズキの23.5%増、アウディの16.2%増、メルセデス・ベンツの3.6%増とともに増加したことによる。次に輸出額が大きい品目は電気・電子機器（13.0%）で6.1%増、それに続く通信・録音機器（8.7%）も24.5%増と大きく伸び、輸出額を押し上げた。

輸出を国・地域別にみると、全体の8割を占めるEU（構成比80.9%）は前年比4.0%増となった。最大の輸出先であるドイツ（27.7%）が、道路走行車両（22.3%）の14.9%増、通信・録音機器（9.9%）の33.9%増に牽引され5.6%増となった。道路走行車両の増加はマジェール・スズキのドイツ向け輸出額が47.5%増と大きく伸びたことによる。一方、英国（3.3%）は医薬品（9.8%）が2.2倍、通信・録音機器（13.4%）が19.5%増と伸びたが、その他輸送機器（0.3%）の97.9%減、発電機（5.8%）の30.1%減、事務用機器・コンピューター（7.0%）の17.1%減により6.8%減となった。EU域外で最大の輸出先の米国（2.8%）は1.5%増と微増だった。アジア最大の輸出先の中国（1.4%）は、道路

表1 ハンガリーの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)				
	2018年		2019年		2018年		2019年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率	
道路走行車両	17,283	19,355	17.8	12.0	電気・電子機器	14,195	15,468	14.9	9.0
電気・電子機器	13,375	14,194	13.0	6.1	道路走行車両	10,233	10,460	10.1	2.2
通信・録音機器	7,624	9,495	8.7	24.5	通信・録音機器	5,265	6,351	6.1	20.6
発電機器	8,415	8,434	7.7	0.2	一般機器	5,954	5,972	5.7	0.3
医薬品	5,330	5,603	5.1	5.1	発電機器	4,358	4,602	4.4	5.6
一般機器	5,020	4,796	4.4	△4.5	石油製品	4,500	4,494	4.3	△0.1
事務用機器・コンピューター	4,173	4,144	3.8	△0.7	医薬品	4,458	4,464	4.3	0.1
雑製品	3,034	3,014	2.8	△0.7	金属製品	3,521	3,626	3.5	3.0
科学・制御機器	3,030	2,912	2.7	△3.9	事務用機器・コンピューター	3,320	3,446	3.3	3.8
金属製品	2,499	2,440	2.2	△2.3	雑製品	3,296	3,431	3.3	4.1
合計 (その他含む)	104,855	108,929	100.0	3.9	合計 (その他含む)	99,335	104,074	100.0	4.8

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。  
[出所] ハンガリー中央統計局

表2 ハンガリーの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年		2019年		2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	84,690	88,091	80.9	4.0	75,086	76,764	73.8	2.2
ユーロ圏	61,252	64,358	59.1	5.1	57,274	58,548	56.3	2.2
ドイツ	28,581	30,175	27.7	5.6	25,764	26,301	25.3	2.1
スロバキア	5,446	5,638	5.2	3.5	4,949	5,090	4.9	0.0
イタリア	5,430	5,637	5.2	3.8	4,651	4,481	4.3	△3.6
オーストリア	4,961	4,997	4.6	0.7	6,068	6,364	6.1	4.9
非ユーロ圏	23,438	23,733	21.8	1.3	17,813	18,216	17.5	2.3
ポーランド	4,424	4,648	4.3	5.1	5,742	5,999	5.8	4.5
チェコ	4,676	4,622	4.2	△1.2	5,028	5,140	4.9	2.2
英国	3,862	3,601	3.3	△6.8	1,833	1,744	1.7	△4.9
アジア大洋州	4,690	4,346	4.0	△7.3	12,103	12,524	12.0	3.5
中国	1,991	1,483	1.4	△25.5	5,397	6,381	6.1	18.2
ASEAN	596	641	0.6	7.4	1,924	2,073	2.0	7.8
日本	599	627	0.6	4.7	1,270	1,468	1.4	15.6
韓国	368	338	0.3	△8.0	1,806	2,718	2.6	50.5
北米	39,982	40,399	37.1	1.0	2,063	2,433	2.3	17.9
米国	2,994	3,038	2.8	1.5	1,811	2,151	2.1	18.7
ウクライナ	1,896	2,144	2.0	13.1	1,521	1,613	1.5	6.0
ロシア	1,551	1,809	1.7	16.7	3,900	3,986	3.8	2.2
合計(その他含む)	104,855	108,929	100.0	3.9	99,335	104,074	100.0	4.8

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

②アジア大洋州は、ASEAN+6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港、台湾を加えた合計値。北米は、米国、カナダ、メキシコの3カ国の合計値。

[出所] ハンガリー中央統計局

21.4%増が牽引した。韓国（2.6%）の50.5%増の伸び率も目立った。

2020年上半期の貿易は、輸出が前年同期比11.5%減の488億87万ユーロ、輸入が10.4%減の467億5,498万ユーロと輸出入ともに落ち込んだ。特に機械類・輸送用機器の輸出が14.0%減、輸入が13.2%減と、新型コロナウイルス感染拡大防止のための各種制限措置から、3月半ば以降の工場閉鎖による生産活動の低下が響いた。

## ■輸送用機器の対内投資が大幅に増加

ハンガリー国立銀行によると2019年の対内直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比30.5%減の36億4,350万ユーロで、4年ぶりの減少となった。

業種別にみると、製造業向け投資が33億4,950万ユーロと最大で、前年比29.9%増と伸長した。内訳は自動車・輸送用機器が4.1倍、電子・光学機器、コンピューターが76.3%増と寄与した。一方、サービス業は1億3,620万ユーロで、94.9%減と大幅に減少した。前年大きく伸びた不動産関連の引き揚げ超過による。

国・地域別にみると、EUのうち、非ユーロ圏からの投資が顕著で、前年の引き揚げ超過から13億3,150万ユーロのプラスに転じた。アジアからは韓国が33.3%減の6億1,180万ユーロ、中国は2.9倍の1億4,960万ユーロとなった。

2019年に発表された主な対内直接投資案件では、韓国企業によるEVバッテリー関連の投資案件が多かった。ハンガリーにはアジアの主要EVバッテリーメーカー5社のうち3社（SKイノベーション、サムスンSDI、GSユアサ）に加えて、部品サプライヤーも製造拠点を設けている。企業買収案件では、英国ボーダフォンが7月、ケーブル通信・携帯電話通信事業会社UPCのハンガリー法人を1,157億フォ

走行車両（7.4%）の81.7%減の影響で25.5%減と大幅に減少した。そのほか、ウクライナ（2.0%）は13.1%増、ロシア（1.7%）は16.7%増と伸長した。

輸入を品目別にみると、最大の輸入品目の電気・電子機器（構成比14.9%）が前年比9.0%増となった。また通信・録音機器（6.1%）が20.6%増と大幅に増加した。

輸入を国・地域別にみると、全体の7割強を占めるEU（構成比73.8%）は前年比2.2%増だった。最大の輸入元のドイツ（25.3%）が2.1%増、続くオーストリア（6.1%）が4.9%増となった。EU域外では、ドイツに次いで輸入額が大きい中国（6.1%）が18.2%増と堅調に増加した。通信・録音機器（23.7%）の22.1%増、電気・電子機器（19.4%）の

リントで買収した。

2019年の対外直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）は前年比13.0%減の21億4,050万ユーロとなった。

表3 ハンガリーの業種別対内・対外直接投資  
（国際収支ベース、ネット、フロー）

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2018年		伸び率	2018年		伸び率
	金額	金額		金額	金額	
製造業	2,577.6	3,349.5	29.9	△157.9	691.6	—
自動車・輸送用機器	219.8	901.3	310.1	△177.8	192.6	—
電子・光学機器、コンピューター	479.5	845.5	76.3	△135.2	310.9	—
電気機器	295.1	462.1	56.6	c	△4.8	—
化学・化学製品	600.9	446.2	△25.7	19.5	11.2	△42.6
ゴム・プラスチック	248.7	375.1	50.8	13.2	32.5	145.4
機械	541.8	278.6	△48.6	3.5	△1.4	—
その他の非金属鉱物製品	89.4	122.4	37.0	4.3	7.8	81.9
食品・飲料・タバコ	△428.0	95.8	—	2.7	3.8	38.7
木材・製紙	26.3	71.3	171.3	64.1	14.8	△77.0
コークス・石油	21.6	1.3	△94.2	43.0	97.1	125.7
医薬品	241.6	△158.7	—	63.2	29.6	△53.1
サービス業	2,681.6	136.2	△94.9	2,386.8	609.8	△74.4
運輸・倉庫	△93.8	783.2	—	69.1	18.1	△73.8
金融・保険	328.9	285.7	△13.1	1,122.8	849.1	△24.4
小売・卸売・車両修繕	1,245.3	219.1	△82.4	135.7	△2.5	—
情報通信	10.2	86.6	749.0	△36.2	293.6	—
専門・科学・技術	765.1	△175.0	—	△56.6	122.4	—
不動産	213.2	△534.3	—	33.3	244.6	635.2
農業	△24.4	18.5	—	8.2	10.6	29.1
鉱業、採石	72.8	△4.3	—	△153.8	490.6	—
建設	93.4	△166.5	—	3.1	7.3	138.9
電力・ガス・冷暖房供給	△450.4	△274.9	—	△25.9	△35.0	—
合計（その他含む）	5,242.1	3,643.5	△30.5	2,461.2	2,140.5	△13.0

[注] 「—」は負の値に関わる伸び率。「c」は該当企業が3社未満のための非公表。

[出所] ハンガリー国立銀行

表4 ハンガリーの国・地域別対内・対外直接投資  
（国際収支ベース、ネット、フロー）

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資				対外直接投資		
	2018年		伸び率		2018年		伸び率
	金額	金額			金額	金額	
EU	2,720.0	2,165.3	△20.4	EU	1,441.7	427.9	△70.3
ユーロ圏	3,261.0	833.8	△74.4	ユーロ圏	1,342.2	106.5	△92.1
ルクセンブルク	758.9	912.0	20.2	オランダ	121.7	929.8	663.8
ドイツ	△675.5	797.6	—	スロベニア	26.7	302.0	1,029.6
フランス	450.1	516.8	14.8	スロバキア	△155.7	227.6	—
オーストリア	430.0	462.2	7.5	アイルランド	1,101.0	△1,055.8	—
オランダ	614.8	98.2	△84.0	非ユーロ圏	918.3	997.8	8.7
アイルランド	537.9	△1,237.2	—	ポーランド	99.6	321.4	222.8
非ユーロ圏	△540.9	1,331.5	—	ブルガリア	614.1	199.9	△67.5
英国	△718.0	895.8	—	ルーマニア	110.2	195.3	77.2
デンマーク	77.3	140.2	81.3	チェコ	△88.0	133.1	—
スウェーデン	24.6	120.0	387.2	スウェーデン	1.3	120.6	9,076.2
スイス	433.9	1,011.3	133.1	スイス	△220.2	547.6	—
ノルウェー	△350.7	96.9	—	セルビア	39.8	220.9	455.2
ロシア	140.9	45.8	△67.5	ウクライナ	55.7	72.0	29.3
米国	1,135.7	△478.8	—	米国	92.9	64.5	△30.5
韓国	917.3	611.8	△33.3	日本	1.2	1.2	△1.1
日本	188.0	248.2	32.0	韓国	△1.7	△3.1	—
中国	52.4	149.6	185.3	ブラジル	48.6	98.9	103.3
合計（その他含む）	5,242.1	3,643.5	△30.5	合計（その他含む）	2,461.2	2,140.5	△13.0

[注] 「—」は負の値に関わる伸び率。

[出所] ハンガリー国立銀行

表5 ハンガリーの主な対内直接投資案件（2019年）

(M&A以外)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
電子部品	サムスンSDI	韓国	2019年10月	12億ユーロ	ブダペスト郊外グードのEVバッテリー工場の拡張を発表。新たに1,200人の雇用予定。
電子部品	SKイノベーション	韓国	2019年2月	7億5,600万ユーロ	ハンガリー北西部コマールムに2018年から建設中の第1工場の隣に第2工場を建設する計画を発表。2021年より第3世代EVバッテリーの生産を開始し、1,000人を雇用する予定。
航空機	ルフトハンザ・テクニク	ドイツ	2019年2月	430億フォロント	ハンガリー北東部ミシュコルツに航空機エンジン部品の修理・オーバーホールを行うサービスセンターの設立を発表。ルフトハンザ以外の航空機も受け入れる。400人を雇用し、2022年操業開始予定。
自動車	アウディ	ドイツ	2019年7月	410億フォロント	ハンガリー北部ジュールの車両製造工場およびエンジン開発センター、電気モーターユニットを拡張し、新たに250人を雇用すると発表。
家電製品	エレクトロラックス	スウェーデン	2019年9月	1億ユーロ	ハイエンド製品の競争力強化、スマート家電生産のため、ハンガリー北東部ニーレジハザの冷蔵庫工場への投資を発表。1991年のハンガリー進出以来最大の投資額となった。

(M&A)

被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
無線電話通信	UPC	ボーダフォン	英国	2019年7月	1,157億1,700万フォロント	ボーダフォンは米メディア大手のリパティ・グローバルのハンガリー、チェコ、ルーマニア、ドイツにおけるCATV事業を買収し、7月31日に同社へ統合。これにより、リパティ・グローバル子会社であるUPCハンガリーもボーダフォンに統合された。2020年4月にUPCブランドの携帯電話事業は消滅し、ボーダフォンに引き継がれた。
電力	エルミュー	エーオン	ドイツ	2019年9月	非公表	電力会社エーオンはドイツ電力会社RWEから再生可能エネルギーのベンチャーであるイノジーを買収し、76.8%の株式を取得。これにより、エーオンはイノジーの子会社であるハンガリーの電力会社エルミューの所有者となった。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表6 ハンガリーの主な対外直接投資案件 (2019年1月~2020年4月)

〈M&A以外〉						
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要	
不動産	コーデリア	ポーランド	2019年10月	非公表	今後4年間で、ポーランドの17の開発プロジェクトにおいて合計2,600戸の住宅を建設する計画を発表。これまでにワルシャワ、クラクフ、グダニスク、バルト海のリゾート地ソポトで合計1,000戸以上の住宅を建設するなど、ポーランド国内で開発プロジェクトを展開している。	
〈M&A〉						
買収企業	被買収企業 (事業)			時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
MOL	エネルギー	ACG, BTC	アゼルバイジャン	2020年4月	15億7,000万ドル	MOLは米同業のシェブロン・グローバル・ベンチャーズおよびシェブロンBTCパイプラインとの間で、アゼリ・チラグ・グナシュリ (ACG) 油田の参加権益9.57%およびトルコ・セイハン港までのBTCパイプラインの8.9%の出資シェアを含む契約への調印を完了。これにより同社は1日当たり2万バレルの石油をセイハン港まで輸送できる。
OTP銀行	金融	DSK銀行	ブルガリア	2019年1月	11億7,350万ブルガリア・レフ	OTP銀行はフランスのソシエテ・ジェネラルからソシエテ・ジェネラル・エクスプレス銀行の買収を完了し、子会社のDSK銀行と統合することを発表。2020年の統合完了後は預金額・支店数ともにブルガリア国内の銀行で1位となる。
万華化学 (ハンガリー) ホールディング	化学	ケマチュ・テクノロジー	スウェーデン	2019年7月	1億2,000万ユーロ	万華化学グループのヨーロッパ拠点であるハンガリー子会社 (ボルソッドチェム) が、研究開発強化のためケマチュ・テクノロジーの全株式を取得した。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

## ■自動車・EVバッテリー分野で日本から投資

2019年の対日輸出は前年比4.7%増の6億2,700万ユーロ、輸入は15.6%増の14億6,800万ユーロだった。輸出は最大品目である道路走行車両 (構成比40.6%) が前年の減少から一転、26.7%増と大幅増となった。肉類 (2.7%) はアフリカ豚コレラ (ASF) により日本が豚・豚肉類のハンガリーからの輸入を2018年4月以降停止している影響で、61.9%減と前年からさらに大きく落ち込んだ。日本からの輸入は電気・電子機器 (23.8%) が35.0%増、道路走行車両 (23.3%) が29.6%増と好調だった。

2019年の日本からの投資は32.0%増の2億4,820万ユーロだった。主な投資案件をみると、ブリヂストンが9月、92億フォリントを投資したタバーニャ市にあるタイヤ工場の拡張とAIによるスマート化を進めた。デンソーも9月、セーケシュフェール市に9,500万ユーロを投資し生産ライン効率化を完了した。日本発条は10月、コイルばねとスタビライザの受注増に対応するため8,400万ユーロを投じたタ郡に第2工場を拡張・稼働した。欧州のEV需要を受けた投資も続き、東レは7月、ニェルゲシュウイファル市に1,270億フォリント規模のリチウム電池用バッテリーセパレーターフィルム製造工場の建設を発表、稼働開始は2021年7月の予定だ。GSユアサは10月、初の海外拠点としてミシュ

コルツ市に2,880万ユーロを投じたEV用リチウムバッテリー新工場の稼働を開始した。

表7 ハンガリーの対日主要品目別輸出入 (通関ベース)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
道路走行車両	201	254	40.6	26.7	電気・電子機器	258	349	23.8	35.0
医薬品	58	60	9.6	3.1	道路走行車両	264	342	23.3	29.6
事務機器・コンピューター	41	41	6.5	△0.9	発電機器	219	219	14.9	0.0
有機化学品	32	32	5.1	△0.2	一般機械	183	173	11.8	△5.6
電気・電子機器	40	31	5.0	△21.4	通信・録音機器	25	42	2.8	65.6
雑製品	24	30	4.8	23.6	特殊産業用機械	47	41	2.8	△11.9
一般機械	27	25	4.0	△6.0	金属製品	43	41	2.8	△3.6
通信・録音機器	34	24	3.9	△27.8	非金属鉱物製品	42	41	2.8	△3.2
科学・制御機器	20	21	3.4	5.2	事務機器・コンピューター	9	36	2.5	290.7
肉類	44	17	2.7	△61.9	科学・制御機器	28	36	2.4	28.5
合計 (その他含む)	599	627	100.0	4.7	合計 (その他含む)	1,270	1,468	100.0	15.6

〔出所〕 ハンガリー中央統計局

## 主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：977万人 (2019年)			
②面積：9万3,023km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：1万6,476米ドル (2019年)			
④実質GDP成長率 (%)	4.3	5.1	4.9
⑤消費者物価上昇率 (%)	2.4	2.8	3.4
⑥失業率 (%)	4.2	3.7	3.4
⑦貿易収支 (100万ユーロ)	1,712	△ 1,684	△ 2,992
⑧経常収支 (100万ユーロ)	2,490	377	△ 363
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	27,874	30,068	30,288
⑩対外債務残高 (グロス) (100万ユーロ)	75,114	74,836	75,504
⑪為替レート (1米ドルにつき、 フォリント、期中平均)	274.43	270.21	290.66

〔注〕 ⑦⑧：国際収支ベース、⑦：財のみ  
 〔出所〕 ①②④⑤⑥：ハンガリー中央統計局、③：世界銀行、⑦⑧⑩：ハンガリー国立銀行、⑨⑪：IMF

(お問い合わせ先)

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp